



ご卒業おめでとう



発行所 上田染谷丘高校
新聞委員会
学友会
新聞委員会
山本日和
金井印刷所

明日卒業式

318名が旅立つ

立春を迎えて、はや一か月。次第に暖かくなるなか、明日は卒業式です。今号の染谷丘高校新聞では、校長先生はじめ、卒業生や三年間生徒を見守ってきた先生方、その思いを聞きました。

たたく扉によって 人生は変わる



宮崎清孝校長先生
—校長先生から見た三年生の印象は
やっぱり一、二年生とは違ったお兄さんお姉さんのような感じがしました。集会や文化祭を通して一、二年生へ「おまえたちも後に続け」みたいな何かメッセージを発信している気がしましたね。

—さすが三年生と思っただけは、大会などで賞を取ったりすると、顧問の先生に指示されてではなく、校長室のドアをノックして自分たちから報告に来てくれるんですよ。それがすごくいいなと思います。

—卒業をひかえた三年生にメッセージを
三年間、朝などにハイタッチをする習慣を行っていましたが、一番最近のホームルームの時に「十人ハイタッチしてみよう」と言ったら即座にできてしまうなど、クラスの打ち解けた雰囲気を感じたことです。

3年間の財産を大切に



三年三組担任保健体育科 中村正輝先生
—今の印象と成長したと思うことは何ですか
三年間、朝などにハイタッチをする習慣を行っていましたが、一番最近のホームルームの時に「十人ハイタッチしてみよう」と言ったら即座にできてしまうなど、クラスの打ち解けた雰囲気を感じたことです。

三年生はとても礼儀正しいです。例えば「体育館に上がる時にはサンダルの裏と裏を合わせて、自分の座る横に置く」ということを一言言ったら、三年間必ずそれを守ってくれた。そういう礼儀正しさや、相手の話を聞いて行動できることは財産だと思うので、社会人になって世に羽ばたいていって大切にしてほしい。そして自分の夢を叶えてください。

セージをお願いします
三年生の皆さんは今十八歳なので、これからおそろく八十年くらいは生きる人生を持つていると思います。高校を卒業をするときの出口はそれぞれ違う。大学を含め、上の学校への入試や就職は一つの大きな関門をくぐることで、人生の選択はこれからのいろいろな待ち受けています。

職場で愛される職業人に



三学年主任数学科 竹内隆先生
—三年生の入学当初の印象と今の印象を教えてください
進学先で学生時代にしかできないことを楽しんでほしいです。職場の人に愛されるような職業人になってほしいです。

口はそれぞれ違う。大学を含め、上の学校への入試や就職は一つの大きな関門をくぐることで、人生の選択はこれからのいろいろな待ち受けています。どんな結果であったとしてもそれが人生のすべてではありません。まだ八十年ある人生の歩みでいくらでもいろんな到達点に辿り着いていく、これからの自分の努力は少しずつと続いていくと思いますよ。

挑戦する勇気を



小宮山理絵先生
—三年八組での一番の思い出は何ですか
全部ですが、学校で一番になれるように頑張ったクラスマッチの応援です。文化祭のダンスもクラス一丸となって頑張りました。

—これからの三年生へ向けてのエールをお願いします
人生は人の数だけあると信じています。後悔しないように、やりたいと思ったことに挑戦する勇気を持ち続けて下さい。

パーフェクトな学年

前染谷祭実行委員長 三年八組 中村美空さん
—三年生の特徴を教えてください
ノリが良くて、意外と真面目です。自転車のマナーを除けばパーフェクトな学生だと思っています。

—染谷でのイベントの中で、
個人的なエピソードは、修学旅行でテンションが上がりすぎて、この世のものとは思えない顔で写真を撮ってしまい、帰国後「顔面筋肉痛」になりました。

観客の喜びは

舞踊班の喜び

前舞踊班班長 三年七組 岩下愛佳さん
—舞踊班での活動を漢字一文字で表すと
「走」で、全力で突っ走っていた感じがするから。そして「協」。班員みんな協力して班を作り上げていくことが出来たからです。

—後輩へのエールをお願いします
高校生でいられるのはたった三年間。楽しんで勝ちです、ガンバ!

努力に勝る天才なし

前ハンドボール班班長 三年四組 齊京朋輝さん
—班活動を通して学んだこと・身につけたことはどんなことですか
ハンドボール班は初心者を集まりだったが、「努力に勝る天才なし」という横断幕の言葉を班の目標にして努力した結果、県ベスト4まで行くことが出来ました。

—後輩へのエールをお願いします
後輩たちもベスト4に残ったからこれからも大会を頑張ってください。練習をたくさんしてきたから可能性はあると思う。全国目指して頑張ってください。



3年間をPlayback!

三年生が入学した2014年4月から卒業する2017年3月までの出来事を年表にまとめてみました。あのときどんなことが話題になったのか…振り返ってみましょう!

- 2014・6～ FIFA ワールドカップブラジル大会
富岡製糸場・絹産業遺産群が文化遺産登録
- 7 野々村竜太郎元議員の号泣会見
- 8 エボラ出血熱が流行
- 12 ナツリターン事件
- 2015・3 北陸新幹線開業
- 7 又吉直樹の『火花』が芥川賞に選出
- 9～ ラグビー W 杯
日本がニュージーランドに大金星
- 11 パリ同時多発テロ
- 2016・1 『真田丸』放送開始
- 4 熊本地震
- 5 オバマ前大統領の広島訪問
- 7 ポケモンGO がサービス開始
- 8 小池百合子氏が東京都知事に就任
リオデジャネイロオリンピック
映画『君の名は。』公開
- 9 Bリーグ開催
- 11 元素ニホンニウムが正式決定
- 12 SMAP 解散
- 2017・1 トランプ大統領が就任
- 2 日本ハム大谷翔平投手がWBC 欠場を発表
- 3 東日本大震災から六年

桃の節句

三月三日はひな祭りです。『桃の節句』とも言われる日です。起源説は複数あるようですが、ここではその中の一つをご紹介します。
昔、中国では三月初の巳の日に、水辺で身を洗い清める『上巳の節句』というならわしがありました。これが日本に伝わり、紙やわら人形を自分の身代わりとして水に流して厄を払う『水しびな』の風習になりました。これに貴族の女の子たちの人形遊び(ひいな祭り)が加わり『ひな祭り』が誕生したといわれています。また、『桃の節句』と呼ばれるのは、桃には魔除けの力が備わっていると考えられていたためです。
ひな祭りといえば菱餅やひなあられ、ちらし寿司などを思い浮かべますが、普段の食事と同じようにただ食べている人も多いのではないのでしょうか。これら一つひとつには、娘の健康やしあわせを願う、親の気持ちが届められているようです。ひな祭りの意味や願いを考えながら過ごしてみても良いですね。

新学友会役員決まる

スローガン決定 “協心戮力” 心と力を一つにあわせる

新役員が活動が徐々に活発になっています。学友会会長はこれからどんな活動をしていくのか、どんなことを目指しているのか。スローガンも決定し『これからの学友会』について聞きました。



染谷を一つに

二十九年学友会会長
二年二組

瀧澤将貴会長

これから進めていく学友会の方針は「全校の意見をできるだけ多く取り入れる取組みを行いたいと思います。」

「その具体的な内容とは「全校に学友会の活動を伝えることができる『学友会通信』のようなものを作っていきたいと思えます。」

「最も充実させたい点は「全校に学友会活動をもっと知ってもらえるような政策を考えています。」なぜそれが大切なのか。「染谷生の心を一つにするには、やはり学友会活動をもっと深く知ってもらうことが大切だと思うからです。」

「新しい学友会のスローガンを教えてください。」

「協心戮力(きょうしんりくりょく)です。」

「その四字熟語の意味を教えてください。」

「心と力を合わせて互いに協力して物事に取り組むという意味があります。」

「なぜそのスローガンを掲げたのですか。」

「染谷生全員の心と力を一つにしてより良い学校生活・学友会を創り上げていくという目標を掲げてこのスローガンにしました。」

新しい学友会が瀧澤生徒会長のもと発足しました。前学友会で成し得なかったことをどう改善していくのか、来年度の染谷丘高校をどんな色に染めていくのか期待しています。また、そのためには生徒の皆さんの積極的参加が必要不可欠となるでしょう。

学友会役員一覧

会長	瀧澤将貴 (2-2)	保健委員会	委員長	丸山ゆめの (2-7)
副会長	羽田杏名 (2-8)	副委員長	滝澤雄太 (2-5)	
	松井大地 (2-8)	緑化委員会	委員長	中山小夏 (2-8)
会計局		副委員長	大澤威吹 (2-3)	
局長	武田恵実 (2-4)	視聴覚委員会	委員長	桐山 陽 (2-6)
副局長	白石宏一 (2-7)	副委員長	横山実郁 (2-1)	
書記局		厚生委員会	委員長	丸山桃佳 (2-8)
局長	田邊彩夏 (2-7)	副委員長	中曾根奈津希 (2-1)	
副局長	吉村 萌 (2-8)	染谷祭実行委員会	委員会	柳堂浩太 (2-3)
	小林直貴 (2-3)	副委員長	志摩樹音 (2-2)	
通信事務局		伊奈知里 (2-4)		
局長	大工原礼人 (2-4)	新聞委員会	委員長	山本日和 (2-1)
副局長	細谷愛理 (2-5)	副委員長	小池観月 (2-6)	
会計監査		棕櫚編集委員会	委員長	寺島瑠菜 (2-5)
局長	土屋晴奈 (2-4)	副委員長	山浦大知 (2-3)	
副局長	松井 悠 (2-1)	体育委員会	委員長	佐藤息吹 (2-3)
評議委員会		副委員長	後藤優衣 (2-7)	
議長	西澤優佑 (2-5)	学芸委員会	委員長	鷹野 翔 (2-1)
副議長	桑原実瑞穂 (2-4)	副委員長	手塚菜月 (2-7)	
審査委員会		選挙管理委員会	委員長	竹田美希 (2-2)
委員長	宮本塔子 (2-6)	副委員長	大川真弥 (2-4)	
副委員長	滝澤瑠美 (2-7)			
規律・安全委員会				
委員長	出浦祐羽 (2-2)			
副委員長	倉島美佳 (2-5)			
	下村朋輝 (2-7)			
整美委員会				
委員長	柳田有佳 (2-8)			
副委員長	上原颯馬 (2-6)			
	佐藤啓太 (2-1)			
図書委員会				
委員長	杉村鷹祐 (2-2)			
副委員長	中村彩乃 (2-4)			

歌詞に込められた願い 卒業ソング『旅立ちの日に』

皆さんは小中学校の卒業式で、どんな曲を歌いましたか。ここでは、近年卒業ソングの定番として全国で最も歌われている合唱曲『旅立ちの日に』について紹介していきます。

この曲は、中学校の教員によって卒業生のために作られた曲です。先生方・卒業生の両者の気持ちが込められた素敵な歌詞を感じます。それは、ワンフレーズをピックアップして、さらに紹介していきます。なんとなく歌っていたフレーズの意味を実際に知って

皆さんは小中学校の卒業式で、どんな曲を歌いましたか。ここでは、近年卒業ソングの定番として全国で最も歌われている合唱曲『旅立ちの日に』について紹介していきます。

冒頭の『白い光の中に山並みは萌えて』とはどういう意味なのか。まず『光』が『白』とあるのは眩しい、明るいという意味で『山並み』は山の連なりを意味しています。『萌える』とは草木の芽が出ることです。

春が来て明るくなった日差しに照らされ、遠くに見える山々には、木々が芽吹いているのが見える、爽やかに生命があふれる情景に託して、新しい出発への希望を歌っているのだと思います。

全国総文祭に向けて 弁論大会開催

弁論大会開催

一月二十九日、東御市のサンテラスホールにて、第一回長野県高等学校弁論大会が開催されました。この大会は平成三十年の全国総合文化祭長野大会(信州総文)に向けて行われました。本校からも弁士や運営者として数名が参加。第一回の弁論大会の様子をお聞きしました。

会場の雰囲気はどんな感じでしたか。そんなに緊張せずに、人もまばらだったので意外とこんなもんなの?という不思議な感覚でした。

弁論大会を通して学んだことは。弁論については深く深く学べたと思います。専門の先生が来てくださって弁論とは何かを教えてくださいました。場の雰囲気も大会に慣れていないので、「どうやら緊張せずにやれるのだろうか?」というのを今回の大会で模索したので、学べたことは大きかったと思います。

発表者代表
一年二組 田中愛美さん
「染谷生の声」で弁論の発表をしたことがきっかけです。そのあとに先生から声をかけてもらいました。弁論大会に向けて苦労したことは。発表内容を書き出すことがすごく大変で、最初の内容は何を足したらより良くなるのか、流れを壊さないかなどを、気をつけました。

運営者代表
一年七組 番場翔さん
「活動内容を教えてください。」

自分では司会だったのですが原稿に従って進行しました。実行委員会全体としては、受付や開会式閉会式の進行、弁士の方の案内など、大会に関することは大体やっていました。最後に全体を通してどうでしたか。司会者として参加させていただけましたが、臨機応変に対応することができて、また一緒に参加した仲間とも協力して良い大会にできたと感じます。

編集後記

今号のコンセプトは『卒業』です。今まで以上に染谷生の皆さんに目を通して読んでもらえるよう新しい試みをし、力を入れました。その試みでまだまだ未熟な部分がありました。先生方と副委員長の協力により無事新聞を完成させることが出来ました。今後はこの経験を活かし、少しずつ新聞の質を上げられるようにしたいです。近年おそろそそになりがちだった委員の仕事も活発にすることで、新聞委員会全体で充実した新聞作りを目指します。ぜひ、次号もよろしくお祈りします。

新聞委員会委員長
二年一組 山本 日和

今年度は新しい新聞委員会が発足して初めての新聞づくりとなりました。新しくなった紙面に気づいていただけましたか。今までの形式と異なり、取材編集にあたる委員にも戸惑いがあったようですが、それぞれ責任をもって役割を果たし、無事完成にこぎつけることができました。新たな試みによる新聞づくりだったので、不自然な部分もあると思いますが、今回はそれも含めて新聞の一部だと思って温かい目で見ていただけたら幸いです。取材に協力してくださった先生及び生徒の皆さん、ありがとうございました。

新聞委員会副委員長
二年六組 小池 観月

